

技術情報

長崎県病害虫防除所長

令和元年度病害虫発生予察技術情報第3号

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）の越冬量について

令和2年2月に行ったチャバネアオカメムシの越冬量調査の結果を下記のとおりお知らせします。
については、今後の果樹カメムシ類防除対策の参考にしてください。

記

1. 調査結果

令和2年2月4～5日に県内16地点の常緑広葉樹林の落葉を採集し、落葉下で越冬しているチャバネアオカメムシ成虫数を調査した。その結果、調査16地点中15地点で越冬虫が認められ、越冬量は1.56頭/㎡（平年0.28頭/㎡）と平年より多かった（表1、2）。

表1 チャバネアオカメムシの越冬量調査結果
落葉採集日：令和2年2月4日、5日

No	調査地点	虫数 (頭/㎡)
1	佐世保市針尾	0
2	佐世保市宮	4.67
3	西海市小迎	1.33
4	西海市丹納	2.00
5	東彼杵町赤木	5.67
6	大村市鬼橋	1.00
7	大村市今村	1.00
8	長与町岡	0.67
9	時津町西時津	0.33
10	諫早市東園	0.33
11	諫早市佐瀬	0.67
12	諫早市長田	1.67
13	雲仙市百花台	1.00
14	雲仙市伊福	1.00
15	南島原市新切	1.00
16	南島原市沢野	2.67
	平均	1.56

※調査面積：1地点あたり1㎡×3反復で調査

表2 過去10年間のチャバネアオカメムシ越冬量調査結果

調査年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	平年	2年
虫数 (頭/m ²)	0.48	0.12	0.47	0.41	0.42	0.25	0.02	0.17	0.35	0.06	0.28	1.56

※平年値は過去10年間の平均

2. 今後の発生について

越冬量と4月～8月上旬までのフェロモントラップ誘殺数とは関連がみられ(図1)、令和2年2月時点での越冬量が多いことから、越冬世代の8月上旬頃までの発生量は平年より多いと予想される。

本種を含む果樹カメムシ類の果樹園への飛来時期及び飛来数は地域や園によって異なるので、今後の予察情報や病害虫防除所ホームページ(下記参照)に掲載する果樹カメムシ類の発生推移を参考に、各園地での発生動向に注意する必要がある。

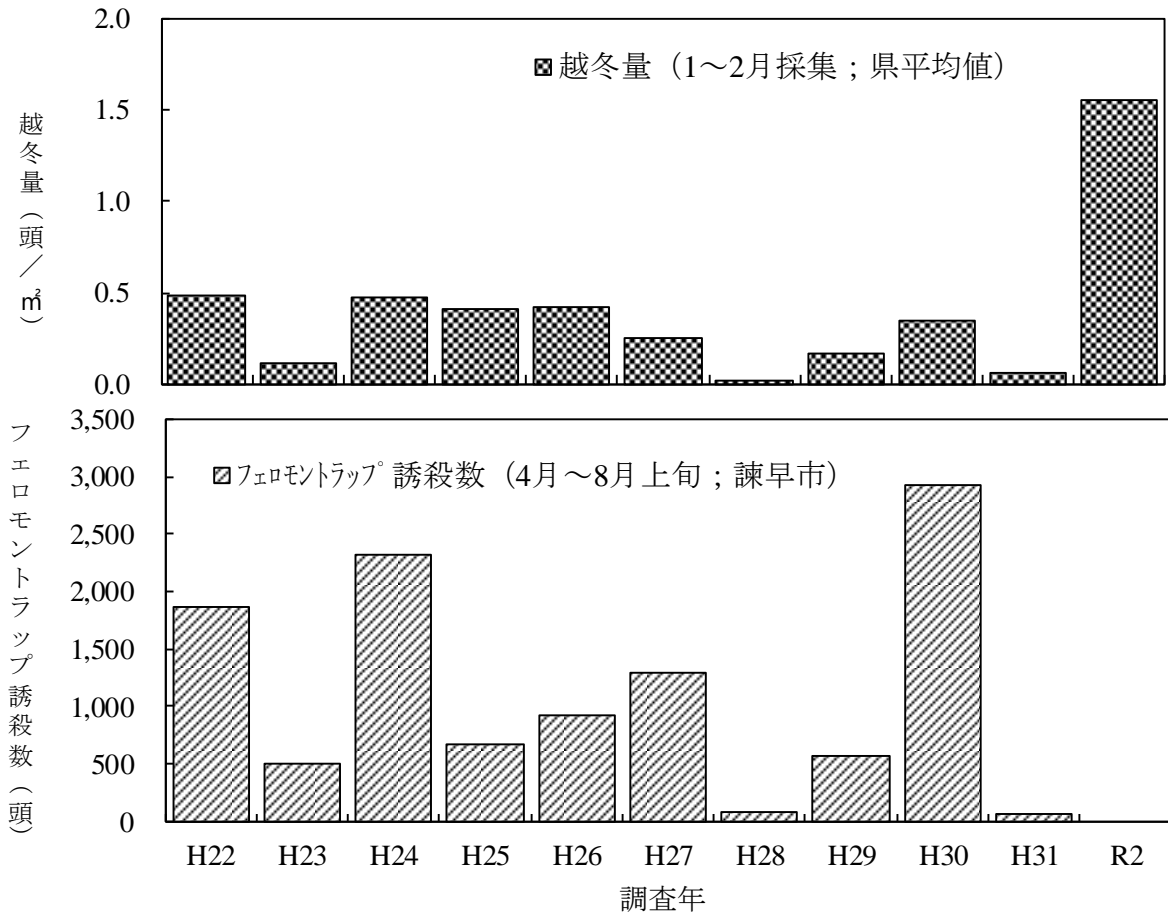


図1 チャバネアオカメムシの越冬量とフェロモントラップ誘殺数の年次推移

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

